

2024年1月17日

各位

会社名 株式会社シンク・アイ ホールディングス  
代表者名 代表取締役・CEO 京谷 忠幸  
問合せ先 取締役・CFO/CIO 浜崎 義樹  
E-mail info@thinqid.co.jp

## 「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」入会のお知らせ

当社は、経済産業省が環境省と共催する「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」に入会しました。サーキュラーエコノミーとは、資源の効率的かつ循環的な利用および製品の持続可能な管理を促進する社会経済システムです。当社グループは、このパートナーシップを通じて地球環境への貢献と、持続可能な事業展開を目指します。

### 1. サーキュラーエコノミーへの取り組みの意義

サーキュラーエコノミーへの取り組みは、企業が社会的責任を果たし、市場での差別化を図る重要な手段です。Nature Positive（自然資産を増やす構造のビジネス）の思考なくして、企業が生き残ることが難しい時代が目前に迫っています。当社は、このパートナーシップへの参加により、新たなビジネス機会を創出し、持続可能な未来への貢献を目指します。

### 2. 入会の背景と目的

2023年3月に「成長志向型の資源自律経済戦略」が策定されたことを受け、経済産業省はサーキュラーエコノミーの実現を目的として、このパートナーシップの設立を発表しました。当社は、サーキュラーエコノミーを活用した新規事業の共創を模索しており、参画を決定しました。

### 3. 「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」の概要

#### ・概要

(1) 名称	「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」 パートナーシップの名称は、2023年12月22日に開催された第1回総会にて、 「サーキュラーパートナーズ（英語名：Circular Partners、略称：CPs）」に決定。
(2) 設立年月日	2023年9月
(3) 活動内容	国、自治体、大学、企業・業界団体、関係機関・関係団体等が参画するパートナーシップの立ち上げ。 ビジョン・ロードマップ策定、CE情報流通プラットフォーム構築についての検討を皮切りに、その他の個別テーマ（標準化、マーケティング、プロモーション、国際連携、技術検討等）についても、順次検討。
(4) 会員数	307者（2023年12月20日時点） 企業231者（大企業：118社、中小企業：113社（うち、小規模企業：27社））、 業界団体：17団体、自治体：13自治体、大学・研究機関：16機関、関係機関・関係団体：30機関

出所：令和5年12月経済産業省「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップについて」より抜粋作成

## ・パートナーシップの目的と主な検討事項

パートナーシップ  
の目的

- 各主体の個別の取組だけでは、経済合理性を確保できず、サーキュラーエコノミーの実現にも繋がらないことから、ライフサイクル全体での関係主体の連携による取組の拡張が必須。
- そのため、サーキュラーエコノミーに野心的・先駆的に取り組む、国、自治体、大学、企業・業界団体、関係機関・関係団体等の関係主体における有機的な連携を促進することにより、サーキュラーエコノミーの実現に必要な施策についての検討を実施。

## ビジョン・ロードマップ

今後の日本のサーキュラーエコノミーに関する方向性を定めるため、2030年、2050年を見据えた日本全体のサーキュラーエコノミーの実現に向けたビジョンや中長期ロードマップの策定を目指す。  
また、各製品・各素材別のビジョンや中長期ロードマップの策定も目指す。

サーキュラーエコノミー  
情報流通プラットフォーム

循環に必要な製品・素材の情報や循環実態の可視化を進めるため、2025年を目途に、データの流通を促す「サーキュラーエコノミー情報流通プラットフォーム」を立ち上げることを目指す。

## 地域循環モデル

自治体におけるサーキュラーエコノミーの取組を加速し、サーキュラーエコノミーの社会実装を推進するため、地域の経済圏の特徴に応じた「地域循環モデル（循環経済産業の立地や広域的な資源の循環ネットワークの構築等）」を目指す。

## その他

標準化、マーケティング、プロモーション、国際連携、技術検討等についても順次検討を実施し、産官学連携によるサーキュラーエコノミーの実現を目指す。

出所：令和5年12月経済産業省「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップについて」より抜粋作成

立ち上げイベントでは、齋藤経済産業大臣、伊藤環境大臣からパートナーシップへの期待が述べられました。第1回総会では、会員（307者）の公表、ガバニングボード及びワーキンググループの設置が決定されました。

## 4. サーキュラーエコノミーの価値共創パートナー募集

当社は、サーキュラーエコノミーの理念とこのパートナーシップの目的に深く共感し、環境への貢献と持続可能な未来の構築に向けて、積極的に取り組んでまいります。そのため、お互いの強みを活かし、イノベーションを生み出し、共に成長できる新たなパートナー企業を募集しています。サーキュラーエコノミーの推進にご興味がある企業様は、ぜひお問い合わせください。

以上